

## 防犯教室



4月20日（水）の2校時に、警察から2名の職員の方に来ていただき、1年生の防犯教室を行いました。誘拐などの犯罪から身を守る

る方法や、そうならないための日頃から気をつけることについて、丁寧にわかりやすく教えていただきました。1年生も積極的に発表するなど、熱心に学習していました。これからの生活の中で、今日学んだことを生かして行ってほしいと思います。警察の方も、1年生になったばかりなのに、とても落ち着いて学習できていると驚いておられました。

## 授業公開日、PTA総会

4月22日（金）に今年度初の授業公開日、PTA総会を実施しましたところ、たくさんの保護者の方々のご参加をいただき誠にありがとうございました。子どもたちが緊張しながらも、しっかり学習に臨んでいる様子をご覧いただき、子どもたちにとっても大きな励みになったと思います。

さて、PTA総会などで保護者の方々にお話しした内容の一部を、言い足りなかったことも補足して、以下に紹介します。

そもそも「確かな学力」「生きる力」というものは何か、自分なりに考えてみたところ、「幸せになる力」「日々幸せを感じて、生き生きと生きる能力」というものに行き当たりました。『愛なき教育は知恵ある悪魔を作る』というような言葉も聞いたことがあります。教育は、ただ単に学力をつければよいというものではないのです。「確かな学力」「生きる力」として立派に機能するためには、全人的な教育は不可欠です。

また、「幸せ」とはそもそも何だろうと考えた時、私は究極的には「感謝できている心理状態」だと考えます。「よかった」→「〇〇さん、～のおかげで」という心の流れができたとき、幸せは益々大きくなります。その時、本心から「有り難い」「お陰様で」と思え、「ありがとう」と言葉になります。人でも、自然でも、神仏でも、事柄でも、何かに感謝できているとき、人は幸せです。また、『人は幸せの度合いに応じて感謝するのではない、感謝する度合いに応じて幸せになるのだ』という言葉もあります。生き方、捉え方が大事だということなのでしょう。

学校では、日々いろいろなことが起きます。楽しいこと、嬉しいことだけでなく、もちろん、その逆の辛いことも起きます。しかし、それも一緒にいる仲間との関わり合いやふれあいがあってこそ起きることです。『親業』で有名なトマス・ゴードンは「トラブルが問題なのではない。トラブルを解決できないことが問題なのだ」と言っています。様々なことを乗り越えていって、感謝に昇華することができれば、幸福感が強まり、力が湧き、夢が育まれていくはずです。そのため、教育活動の中に、子どもたちが人と関わり合う体験的な活動を多く取り入れていきたいと思います。私たち教職員も、様々な出来事を学びの材料に変え、最後には感謝できる結末へ導いていけるように、子どもたちの心に寄り添いながら、支援、指導に全力を尽くしていきたいと思います。

最後に、親は自分の子どもが一番大事ですし、そうでなければ困ります。しかし、自分の子ども一人だけがいい子になることはできません。人は社会的な生き物です。ですから、自分一人だけが幸せになることはできないのだそうです。「幸せになるなら、みんなで！」が鉄則のようです。非現実的だと思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、その方向を目指している間、社会は健全な流れ（幸せに向かう流れ）を保つことができると思います。自分の子がいい子になるためには、まわりの子もいい子になってくなくては無理なのです。そのためにPTAがあります。あらゆる組織は、そもそもみんなの幸せを目指して作られたのです。PTA会員みんなが手をつなぎ合って、江津東小学校の子どもがいい子になるよう、そしてみんなが幸せになるよう、今後のPTA活動の充実に向けて、ご理解ご協力を賜りますよう、何とぞよろしくお願い申し上げます。

## 1年生を迎える会



4月25日（月）に1年生を迎える会がありました。6年生が中心となって会を企画・運営してくれました。6年生としては、本格的に全校を動かすという経験は今年度初めてであり、ずいぶん戸惑いや不安もあったと思います。しかし、「なんとか1年生に楽しんでもらおう」という願いは、しっかりと伝わってきました。1年生のためのアイデアだなと感じることはたくさん





ありました。これから最高学年として全校を動かすことの多くなる6年生です。今日の経験をもとに、これからも一層成長して行ってほしいと思います。

また、1年生も、はじめをもって、しっかりと参加できました。最後の感想発表では、たくさん手が挙がったことにびっくりしました。全校児童の前で発言するという事は、そうそうできることではないと思います。自己を表現する力が豊かだと感じました。これからも、一層その力を伸ばして行ってほしいと思います。



班で自己紹介タイム



リレー



感想発表

## 鯉のぼり



こどもの日に向けて、たんぼぼ学級の1年生が一生懸命に鯉のぼりを作成しました。鯉のぼりは大空を気持ちよさそうに泳いでいました。子どもたちは、ゴールデンウィークに、それぞれ貴重な経験をしたことと思います。様々な経験がこれからの学習・生活の中で生かされ、風をはらんで膨らみ、大空に舞う鯉のぼりのように、自らの夢を膨らませて、学校生活を充実させて行ってほしいと願っています。江津東小学校の職員も一丸となって、子どもたちの成長を支えていきたいと思っています。

## 交通安全教室

5月9日（月）に二人の警察官の方に来ていただき、交通安全教室を実施しました。あいにくの雨で、体育館での実施となり、実技などの内容はできませんでしたが、わかりやすいお話やDVDの視聴があり、子どもたちは熱心に学習していました。



校区内に交通量の多い国道9号線もあり、日頃から交通安全についての意識を高めることが重要です。今日の交通安全教室を機会に、今後も引き続き、交通安全を含めて、安全教育を推進していきたいと思っています。



## 児童集会



5月11日（水）の昼休みに、児童集会がありました。執行部や各委員会がめあてや活動内容を、分かりやすく発表しました。全校の前でも、大きな声で堂々と発表できました。この元気で、これからの委員会活動がより充実し、学校生活をよくしていけるよう、みんなで協力して活動に取り組んでいってほしいと思います。

## 全校朝礼で話したこと

5月12日（木）の全校朝礼で、手作りの巻物を小道具として使って、次のような話をしました。

吐く → 口 + + + - 吐く

今から幸せになるポイントを教えるので、チャレンジしてみてください。『吐く』という字があります。口へんにプラス、マイナスでできています。口から出てくるプラスの言葉は、ほめる言葉、感謝の言葉、優しい言葉などのフワフワ言葉です。マイナスの言葉は、悪口、意地悪な言葉、不平不満、批判などのチクチク言葉です。心の中で感じるのは、人間として仕方がないことなので、マイナスの思いを持つなどは言いません。絶対にチクチク言葉を言うなども言いません。家族の人など信頼できる人に、マイナスの気持ちを含めて本音を話すことは、心の健康のためにとっても大事なことです。本当の気持ちを家の人や先生や信頼できる大人に相談することは、遠慮せず是非日頃からやってほしいと思います。ただし、学校や社会での日常生活で、それを口にするかどうかは問題です。誰もがそれぞれに夢や希望をもちながら、また、いろんな悩みや苦しみを抱えながら、一生懸命に生きています。そんな間柄で、もし簡単にマイナス、チクチク言葉をぶつけたら…、もし何でもかんでも相手のせいにして批判したら…、関係は悪くなり、心のつながりは切れ、自分がひとりぼっちになって寂しくなるだけです。ほんの一時、すっきりしたような気持ちになれるだけです。それを幸せとは言いません。人間は自分一人では幸せにはなれないのです。

おもしろいことに、『吐く』という字は、マイナスがなくなると『吐く』という字になります。これは「かなう」と読みます。『願いが吐く』『夢が吐く』というように使います。自分の口から出る言葉がマイナスのチクチク言葉でなくなり、プラスのフワフワ言葉ばかりになっていくと、自分の願いが叶い、幸せになるのだと思います。そして、そんな自分になれば、友達もたくさんできて、もっともっと幸せになることでしょう。それは自分だけでなく他の人も幸せにできるようになったということです。そのとき、最高の幸せがやってくるのではないのでしょうか。

今日教えたのは秘密の巻物の奥義です。魔法です。しっかり取り組んでみてください。

## お知らせ

1年担任の松田教諭が、この度結婚のため引野の姓になりましたので、お知らせします。